

2016年度事業報告書
(2016年1月1日～12月31日)

特定非営利活動法人 国連ウィメン日本協会

1 事業の成果

新執行体制となった本年度は、年間を通して、UN Women への募金・寄付活動と UN Women の広報活動を柱に、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに向けて、団体・企業・自治体等との連携を進め、UN Women への協力促進を図りました。また、昨年度に引き続き、UN Women 日本事務所との定期会合を行って、連携強化に努めました。

特に、認定 NPO 法人として活動の拡大に向け、募金・寄付活動に積極的に取り組みました。今後募金・寄付活動をさらに促進するために、収益事業にも取り組めるように臨時総会を開催して定款変更を行いました。

UN Women 国内委員会ミーティング、その他の国際会議へ代表を派遣するとともに、来日した UN Women 担当者等との会合をもち、UN Women との連携を深め、国際的な活動の充実に努めました。

国内での女性のエンパワーメントや地位向上のための活動にも取り組み、内閣府の国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業において、内閣府との共催でシンポジウムを開催しました。また、2020年の東京オリンピックを視野に入れ、スポーツ庁が中心となって推進しているスポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム(2020年までに、官民連携のもと開発途上国を中心とした100カ国・1000万人以上を対象に推進されるスポーツ国際貢献事業)に登録して、スポーツを通じた世界の女性のエンパワーメント支援の可能性も探りました。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 日本の社会に UN Women についての理解を深めるための広報活動事業

ア 情報発信広報啓発普及事業

・内容 (1) UN Women 本部、日本協会、協力協定団体の活動を関係者に広報するために、ニューズレター「国連ウィメン日本協会」を制作、発行。10号(1月:3,500部)、11号(6月:3,300部)

(2) ホームページ「国連ウィメン日本協会」に、募金・寄付に特化したトップページを新規作成、内容の一部改訂および適時更新

(3) 宅本便寄付の広報のためにチラシ1,000部を追加印刷し、関係機関、イベント参加者等に配布

(4) UN Women 本部からのニュースリリース等を随時翻訳し、ホームページに掲載、その他資料等を随時翻訳

(5) メールマガジンを発行し、情報の発信に努めた。登録者数600件
臨時号(1月)、第21号(1月)から第32号(12月)まで、全13回

(6) メディア懇談会を開催。メディア関係5社6名が参加。

日時: 9月15日(木) 場所: 日本プレスセンタービル

(7) UN Women 及び国連ウィメン日本協会を各地で広報

・理事長①国交樹立60周年 日本とアイスランド 「つながり広がるこれからの男女平等としあわせ」における講演

日時: 3月5日(土) 場所: 港区男女共同参画センター

②国際ゾンタ 26地区エリア4 第8回エリアミーティングにおける講演

日時：4月16日（土）

場所：ANAクラウンプラザホテル岡山

③第71回日本消化器外科学会・総会における講演

日時：7月15日（金） 場所：徳島大学

④京都大学公共政策大学院広報誌『公共空間』取材対応

日時：8月10日（水） 場所：東京ウィメンズプラザ
インタビュー結果を『公共空間』に掲載

- ・日時 通年
- ・場所 全国
- ・従事者人員 約20人
- ・受益対象者 一般市民 多数
- ・支出額 (1)～(7)の合計 1,310,990円

イ 情報提供・理解促進のための各種事業

(1) 内容 UN Women 及び国連ウィメン日本協会の活動を広報（情報提供含）するため、国内での4月からの女性活躍促進法の実施を前に、働く女性応援シンポジウム「私も大切、仕事も大切の、時代を生きる一心のケア、教育、仕事の現場から」を開催した。

第1部 ミニ講演会

①講師：香山リカ（精神科医、立教大学教授）

「『女の壁』と乗り越え方」

②講師：谷口真由美（全日本おばちゃん党代表代行、大阪国際大学准教授）

「『私』でいこう！」

③講師：岩田喜美枝（元資生堂副社長、国連ウィメン日本協会副理事長）

「女性の活躍のために企業が取り組むべきこと」

第2部 パネルディスカッション

パネリスト：香山リカ、谷口真由美、岩田喜美枝

コーディネーター：有馬真喜子（国連ウィメン日本協会理事長）

- ・日時 2月21日（日）13:30～16:00
- ・場所 東京ウィメンズプラザ
- ・従事者人員 18人
- ・受益対象者 170人

(2) 内容 UN Women 及び国連ウィメン日本協会の活動を広報（情報提供含）するため国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業の一環としておよび外務省シャインウィークス公式サイドイベントとしてシンポジウムを省庁、大学、団体等の協力を得て、実施した。

「いま期待される女性のリーダーシップとは一女性のリーダーシップで社会が変わる、社会を変える」

基調講演「スポーツを通じた女性の活躍促進」

講師：鈴木大地（スポーツ庁長官）

パネルディスカッション「私の歩んだ道—そして未来を拓く」

パネリスト：河本宏子（全日本空輸株式会社取締役専務執行役員
グループ女性活躍推進担当）

木山啓子（認定 NPO 法人ジェン（JEN）代表理事）

三屋裕子（公益財団法人日本バスケットボール協会会長）

村木厚子（前厚生労働事務次官）

山口香（筑波大学体育系准教授）

コーディネーター：目黒依子（国連ウィメン日本協会副理事長、上智
大学名誉教授）

- ・日時 12月1日（木）13:30～16:15
- ・場所 上智大学
- ・従事者人員 18人
- ・受益対象者 191人

・支出額 (1)～(2) 743,300円

② 関係機関・団体に対する UN Women への協力促進活動事業

ア 国際的な協力・連携事業

(1) 内容 ①第60回国連婦人の地位委員会（CSW）期間中に開催された UN
Women NC（国内委員会）ミーティングに理事が参加

- ・日時 3月17日～18日
- ・場所 米国（ニューヨーク）
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 世界の女性

内容 ②UN Women NC（国内委員会）ミーティングに理事が参加

- ・日時 10月17日～19日
- ・場所 ドイツ（ベルリン）
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 世界の女性

(2) 内容 ジェンダーと防災に関するアジア太平洋地域会議（ハノイ）に理事が
参加

- ・日時 5月16日～18日
- ・場所 ベトナム（ハノイ）
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 世界の女性

(3) UN Women 本部関係者との打ち合わせ

内容 ①UN Women アジア太平洋地域事務所（バンコク）地域ディレクター
のロベルタ・クラーク氏との会談

- ・日時 4月20日 10:00-11:00
- ・場所 日本プレスセンタービル
- ・従事人員 3人
- ・受益対象者 世界の女性

内容 ②UN Women 本部戦略的パートナーシップ局のディレクターである
ジョエル・タンギ氏、同局シニア・パートナーシップ・スペシャリスト
であるミツシ・ダス氏との打ち合わせ

- ・日時 12月15日(木) 16:30~18:00
- ・場所 有楽町電気ビルディング
- ・従事人員 8人
- ・受益対象者 世界の女性

・支出額(1)~(3)合計 718,324円

イ 外務省、UN Women 日本事務所との協力・連携事業

(1) 内容 外務省 国際女性会議 WAWへの参加

- ・日時 12月13日~14日
- ・場所 グランドプリンスホテル新高輪
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 世界の女性

(2) 内容 UN Women 日本事務所との打ち合わせ

- ・日時 3月28日、5月27日、12月20日
- ・場所 UN Women 日本事務所、男女共同参画センター横浜
- ・従事者人員 延べ16人
- ・受益対象者 世界の女性

・支出額(1)~(2)合計 71,660円

ウ 各省庁・自治体・団体等との協力促進・連携事業

(1) 内容 スポーツ庁が実施しているスポーツ・フォー・トゥモロー・コンソ
ーシアムに会員として登録

(2) 内容 男女共同参画推進連携会議の「国際的に連携した女性のエンパワーメ
ント促進」チームに、団体推薦議員として理事が参加

(3) 内容 WEPs(女性のエンパワーメント原則)を推進する「WEPs日本
連絡会」(構成団体:国連ウィメン日本協会、グローバル・コンパクト・
ネットワーク・ジャパン(GCNJ)、日本BPW連合会、UN Women 日本
事務所)に理事が参加し、WEPsの啓発・推進をおこなった。

- ・日時 随時
- ・場所 各省庁 他
- ・従事者人員 18人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出額(1)~(3)合計 23,880円

③ 募金活動による UN Women への支援活動事業

ア UN Women への拠出のための(募金・寄付による)ファンドレイジング事業

(1) 内容 UN Women 募金・寄付金

年間を通して、正会員、協力協定団体などによる募金・寄付活動が活発
に行われた。企業等に働きかけ、企業や団体、個人から寄付があった。

2016年度 UN Women 通常募金・寄付金総額 3,582,611円

2016年度 UN Women への拠出金額 2,686,958円(総額の75%)

(2017年6月 UN Women へ支援プロジェクトを指定し送金予定)

①2015年度 UN Women 拠出金 2,501,250 円 (22,515.53 ドル) を 2016年5月12日に支援プロジェクトを指定し UN Women へ送金した。

2015年度拠出金による支援プロジェクト」

・ベトナムダナン「女性と女兒に対する暴力のない地域づくりプロジェクト」

1,501,250 円 (13,513.82 ドル)

・女性に対する暴力撤廃信託基金

1,000,000 円 (9,001.71 ドル)

- ・日時 募金・寄付は通年
- ・場所 全国
- ・従事者人員 18人
- ・受益対象者 世界の女性
- ・支出額 3,304,362 円

④ UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴ使用に関する業務事業
ア UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴの管理事業

・内容 UN Women 及び国連ウィメン日本協会・協力協定団体の名称・ロゴの使用
に関し、協力協定団体、企業等に周知を図り管理・監督に努めた。

協力協定団体については、ネットワーク会議を開催し、名称・ロゴの使用に
関して周知を図ると共に、各団体活動報告、情報・意見交換等を行った。

- ・日時 2月27日(土) 13:30~16:00
- ・場所 婦選会館
- ・従事者人員 18人
- ・受益対象者 一般市民 協力協定団体会員
- ・支出額 145,119 円